ふじみだより

令和8年11月号

冬に向かって、日に日に寒くなってきましたね。つい先日まで半袖で外を歩いていたのが嘘のようです。寒暖差激しく体温調整が難しい時期です。体調など崩されないように、どうぞご自愛下さい。

さて、富士見台特養では、秋の季節にちなんで、「秋祭り」を開催いたしました。皆さま、とても笑顔で参加され、「輪投げ、射的、風船ボーリング、綿あめ」を楽しまれていました。皆様の良い思い出の1つになっていただけたら嬉しいです！

秋祭りを開催しました！

2階









3階







機能訓練の一場面の紹介






歌って、動いて、楽しく運動♪「心が動けば、身体も動く」

歌を聴く、手拍子をする、足でリズムをとる、ほんの少し手を動かす、表情が変わる･･･皆さんが同じ動きをする必要はありません。どこか一か所でも身体が動けばそれも立派な参加です。

歌と音楽に包まれた心地よい雰囲気を、皆さんと一緒に感じ、楽しむことを大切にしています。途中でうとうと眠ってしまう方もいますが、それもまた良し。心地よい時間を過ごしていただけたらと思います。

～機能訓練指導員より～

今月のリレーエッセイは「　S　」さんです。






「秋の夜長にもう一度読書を」

皆様こんにちは。３階で介護士兼ケアマネージャーをしております、Sと申します。富士見台特養に勤め始めて、もう１０年目となってしまいました。

さて、１１月となり秋もすっかり深まり読書の秋となりました。今回は自己紹介も兼ねて、最近私が好きな時間でもある読書についてお話したいと思います。

私は若い頃、電車通勤だったということもありよく本を読んでいました。ミステリーから歴史小説等ジャンルを問わずに色々な物語に入り込み、時間を忘れて読みふけった時もありました。ところがいつの間にか、読書からは遠ざかり、最近では空いた時間にはついついスマートフォンを眺める毎日。そんな私ですが、ある入所されている方が毎晩寝る前に読書をされており「この本面白かったよ。」とお勧めしてくれるのに刺激を受け、最近また本を手に取るようになりました。久しぶりに読書をして感じたのは、やはり本は面白いということです。登場人物や情景を想像して、本の世界に没頭する。集中して物語を理解しようとしているうちに世界に入り込むような感覚は読書ならではの魅力だと思います。

最近は読書離れが進んでいると言われて、本屋さんの数もかなり減少しています。スマホ１つで何でも楽しめる時代だからこそ、ゆっくりとじっくりと本を読む時間を大切にしたいものです。皆様もこの秋、お気に入りの１冊を手に取ってみてはいかがでしょうか？